

# テーマ: 自然

巣鴨第一保育園(豊島区)

## テーマを設定する

日ごろから、園庭で虫探しが好きな子どもたち。特に一番身近なありに関して興味がある。表現遊びも好きなので、ありの動きを取り入れながら、更にありに親しみをもってもらいたいと思った。

## 活動 アーティストワークショップ1~5

アリをイメージしながら動きを考えて、巣に見立てた大きなクラフト紙の上を歩いたりもぐったりするワーク、楽器の音を身体で表現するなど、感触や空間の変化、音楽を味わいながら、自然をテーマにした多様な表現を体験した。最終日は保護者会で発表した。

## 環境をデザインする

●準備した物 シフォン布、クラフト紙、クレヨン、ビニールテープ、養生テープ、楽器(トライアングル、カスタネット、鈴等)、園庭にある自然物、スピーカー

## 探究活動を実践する

### ●活動内容(1日目)

1. 外部講師が踊りながら自己紹介をした後、身体のマッサージも取り入れながら、真似をして動く。
2. 大きな砂糖を抱えているイメージでゆっくり動いたり、布の下をくぐったり、四つん這いであるいたり、アリになったつもりで動くことを楽しむ。
3. 指だけを動かす小さなダンス。誰かと指をくっつけて一緒に踊ることも。
4. 床にビニールテープでつくった道の上を一人ずつ歩き、誰かと出会ったところで指を触覚に見立てて、指と指でおしゃべり。
5. シフォンの布を広げて、みんなでその中に入って遊んだ後、終わりの挨拶。

※2日目は、動きに音を付けて、好きな楽器の音で一人ずつ踊るなど音から動きの幅を広げた。3日目は、園庭で枝や葉っぱなどお気に入りの物を見つけて大きな紙に貼り付け、その上にクレヨンでアリの道を書いて紙の上でアリの動き考えた。4日目は同テーマに基づき別内容で造形ワークショップを実施。5日目は、一連のアリの動きや描いた絵を使って保護者会で発表した。

### ●子供たちの様子

- ・最初は緊張していた子どもたちも、友だちの様子をよく見てやがて勇気を出してやってみる姿が見られた。
- ・線の上を行き来して、出会ったところで指を触覚にしてふれあう姿がアリのダンスになり、見ている子たちから自然と拍手が起こった。

## 活動スケジュール(2歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① アーティストワークショップ1 講師：篠崎芽美(ダンサー・振付家)他1名	R7.10.3 (金)	60分 程度	16人
② アーティストワークショップ2 講師：篠崎芽美(ダンサー・振付家)他2名	R7.11.6 (木)	60分 程度	18人
③ アーティストワークショップ3 講師：篠崎芽美(ダンサー・振付家)他1名	R7.11.25 (火)	60分 程度	17人
④ アーティストワークショップ4 講師：水内貴英(美術家)	R7.12.11 (木)	45分 程度	17人
⑤ アーティストワークショップ5 講師：篠崎芽美(ダンサー・振付家)他2名	R8.1.30 (金)	30分 程度	17人
⑥ ありの巣探し、ありの巣制作、ありの巣ハウス作り、体幹遊び、表現遊び	R7.7~R8.1	30程度 /7回	17人



## 振り返りをふまえた気づき

### ●保育士から

- ・アリをテーマに、普段の保育(アリの観察など)と紐づけながらワークショップを実施したので、子どもたちは間が空いてもワークショップで経験したことを少しずつ覚えていて、アリが砂糖を持ち上げる動作など日頃の活動でも自然と身体が動いていた。ストーリー性があったことも腑に落ちやすかったのだと思う。
- ・いろいろな身体の使い方を体験して、体幹が弱い子にも良い運動になった。
- ・自分一人だけで動くのではなく、みんなで列になったり、友だちとふれ合ったりすることも、回数を重ねるごとに自然にできるようになっていった。